

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和 4 年 1 月 22 日公表

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|--------------------------------|--|----|--|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 基準以上のスペースを確保しており、児童一人ひとりの個性に合わせられるように個室も設けています。 | 今後も利用定員とスペースが適切な関係になるよう努めます。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | 基準以上の人員配置となっており、言語聴覚士や公認心理師などの専門職員も配置しています。 | 今後も適切な職員配置となるよう努めてまいります。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | ○ | | 玄関前は段差があるものの、室内はバリアフリー化されています。 | 玄関での外と中との区別がフラットで分かりづらいため、対策を検討してまいります。 |
| | 4 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | 全職員が参画して PDCA サイクルをおこなっています。 | 今後も定期的な会議で、各自が評価、業務改善策について検討、提案し討議してまいります。 |
| 業務改善 | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 年 1 回アンケートを実施し、アンケート内容をまとめて全職員で話し合い、改善に繋げています。 | 今後もアンケート内容をまとめて全職員で話し合い、改善に繋げてまいります。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。 | 今後も結果は公式 Web サイトで公開してまいります。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | ○ | | 現時点では第三者評価は実施できておりません。 | 第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 事業所内外での研修に参加し、意見交換をしたりと資質の向上を目指しています。 | 今後も積極的に研修に参加し、さらに資質の向上を目指してまいります。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | 定期的にアセスメントを実施して、児童の状況や保護者様のニーズを踏まえて客観的視点で立案、支援計画を作成しています。 | 今後もアセスメントにより保護者様のご意向を踏まえ、児童発達支援計画を作成していきます。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 標準化されたアセスメントツールを活用し、児童一人ひとりの状況を把握しております。 | 今後も継続して正確にアセスメントができるよう努めてまいります。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 児発管のアドバイスを受けながら、個々の課題を職員間で話し合っており、チームで立案しております。 | 今後も活動プログラムは随時チームで立案、計画してまいります。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 基本となる活動は習慣化して定着を目的しながら作為的に固定化して、時に変化を持たせて、飽きることがないように工夫しております。 | 今後も児童が意欲的に取り組む姿勢を引き出せるよう、固定化しない活動を心掛けてまいります。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | 児発管の支援計画を基に、平日は個々の学習課題に取り組むことを重点に置き、長期休暇は季節感を取り入れたイベントや集団療育を計画、実施しながら支援しております。 | 今後も児童の希望も取り入れながら、継続して平日の連続活動、長期休みの季節行事や、制作等で変化を持たせ、楽しく支援してまいります。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | 児発管作成の支援計画を基に個々の能力向上を目指す個別活動と、他者との関わりを持つことで社会適応能力向上を目指す集団活動を組み合わせ計画を作成しております。 | 今後も適切に個別と集団のそれぞれの活動を組み合わせ、支援計画を立案してまいります。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 工程表や職員用の連絡ノートを作成し、当日の流れや役割分担などについて共有しています。前日までの経過記録で確認した情報を踏まえて児発管と話し合い、支援に役立てております。 | 今後も毎朝当日の流れ、支援内容や役割分担についての情報共有のうえ、支援に取り組んでまいります。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 支援終了後に事業所にいる職員同士で振り返り、情報交換をおこない、就業時間を終えて退社した職員には翌日必ず伝達しています。 | 今後も継続して共通認識に努め、報告、連絡、相談を徹底してまいります。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 支援経過記録はその日のうちに担当した職員が必ず記録に残し、復習の必要性や、次の学習のステップへの移行を検討する材料として役立てております。 | 今後も継続して記録の記載を徹底し、より良い支援のために役立ててまいります。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | 定期的にモニタリングを実施し、児童の状況、保護者様のご意向を踏まえ、計画の見直しの必要性を判断し、作成をおこなっております。 | 今後も定期的に児童の現状把握、保護者様のご意向を確認のうえ、計画の作成や見直しを判断してまいります。 |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | ○ | | ガイドラインを遵守し、児童一人ひとりの状況や保護者様のご意向に応じながら総則の基本活動を適切に組み合わせ支援をおこなっています。 | 今後も基本活動を複数組み合わせ、より良い支援を目指してまいります。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 担当者会議には、児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参画しております。 | 今後も継続して児発管が参画し、支援計画や活動案に活かしてまいります。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | ○ | | 保護者様から学校行事や下校時刻の変更を教えてください、学校の先生よりスケジュール表をいただき、情報共有に努めております。 | 今後も継続して学校やご家庭と密に連絡を取り合い、いただいた情報については職員間で共有し、共通認識に努めてまいります。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | ○ | | 現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。 | 事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | 高知県の「つながり」を活用し、受け入れに必要な情報を共有し相互理解に努めております。 | 今後も園や学校、児童発達支援事業所と連絡を取り合い、情報提供や助言をいただきながら、より良い支援のために体制を整えてまいります。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | ○ | | 現在までに該当する児童がいないため、情報提供には至っておりません。 | 該当児童があった場合、関係機関等へ支援内容や活動状況等の情報を提供し、児童の移行先での活動に役立てていただきたいと思います。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 担当者会議で事業所同士で話し合い、療育センターでの検査結果等を見せていただき、貴重な情報として活用しております。 | 今後も積極的に研修へ参加し、各関係機関への助言を求め、連携してまいります。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | コロナ禍もあり、積極的な交流機会はありませんでした。殆どの児童は通学しており、個々で障がいのない子どもと交流ができていると考えております。 | コロナ収束後は、保護者様のご意向も伺いながら、交流機会を検討してまいります。 |
| | 27 | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している | ○ | | 今年度はコロナ禍で協議会への参加機会はありませんでした。 | コロナ収束後は積極的に協議会や、子育て会議へ参加してまいります。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 連絡帳でのやりとりや送迎時の面談を通して保護者様と情報交換をおこない、個々の児童の成長度合いや、課題について共通理解に努めております。 | 今後も引き続き保護者様と情報共有の充実を図り、共通理解に努めてまいります。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | ○ | | ペアレント・トレーニングという形式ではありませんが、個々の相談に応じ、出来る限りのアドバイスをおこなっております。 | 今後は規定の形式を有効活用し、ペアレント・トレーニングの機会を検討してまいります。また継続して保護者様のお悩みに寄り添う支援に努めてまいります。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 契約時に、あるいは保護者様からのご要望があれば、その都度児発管や管理者が分かりやすくご説明しております。 | 今後もわかりやすく丁寧な説明を心がけてまいります。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 連絡帳や送迎時での面談、または電話にて、お悩みやご要望をお聞きし、丁寧な対応に努めています。 | 今後も継続して子育てのお悩みについての的確な助言に努め、保護者様に寄り添う対応を心掛けてまいります。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | 本年度はコロナ禍のため、事業所の主催の保護者会等は開催できませんでした。 | コロナ収束後は、保護者様のご意向も踏まえ、保護者会等の開催を検討してまいります。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 苦情窓口と責任者を配置し、玄関には意見箱を設置しております。苦情やご意見は、全職員間で話し合い、解決に向け迅速な対応に努めております。 | 今後も保護者様から忌憚なくご意見をいただき、ご意見に迅速に、出来るだけ迅速に対応し、問題を解決できるよう努めてまいります。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | 公式 Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしています。また年 4 回「COMPASS だより」を季刊発行しています。連絡帳で行事予定やお知らせ、毎月の様子を記載し、配布しております。 | 今後も継続して情報の発信をおこない、保護者様に事業所の支援を知っていただくよう努めてまいります。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | 個人情報に記載された書類の廃棄はシュレッダーを使用し、個人情報のファイルは鍵付きキャビネットに保管・管理しております。 | 今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、取り扱い・保管に努めてまいります。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | 児童には特性に合わせた伝達方法を選択し、保護者に合わせた分かりやすい言葉で丁寧な情報伝達を心がけています。 | 今後も、個々の特性を考慮しながら、情報伝達を心がけ、意思疎通に努めてまいります。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | コロナ禍でもあり事業所行事に地域住民を招待する企画は実施できていません。 | 個人情報の観点から保護者様のご意向も踏まえ、地域イベントに児童と参加の方々を招待する等の機会を検討してまいります。 |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | | 保護者様にご覧いただけるように各種マニュアルは事業所入り口に掲示し、事業所内では全職員で感染症や緊急時対応について周知し、訓練を計画、実施しております。 | コロナ禍であるため、保護者様が入室し、掲示されたマニュアルをご覧いただくことは難しいと思いますが、ご要望に応じ、提示させていただきます。またお便りなどでも、マニュアルに基づいた訓練や、所内研修の実施内容をお知らせしてまいります。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 隔月で様々な災害や、不審者対応に備えた避難訓練を実施しております。避難袋の補充も定期的におこない、有事の際に備えております。 | 今後も定期的に実りのある避難訓練を実施してまいります。 |
| 非常時の対応 | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 外部への研修には参加できておりませんが、事業所内で研修をおこない、全職員が共有、理解しております。 | 今後は積極的に外部への研修にも赴き、所内でも討議を続けてまいります。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | 利用契約書には、身体拘束の禁止が記載されており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合は、予め文書により保護者様の同意を得ることとしております。保護者様に、身体拘束については契約時に詳しくご説明し、了承を得ております。 | 今後も原則として「身体拘束を行わない基本姿勢」を守りながら、緊急時、または児童の命に関わる事象が起きた場合、止むを得ない状況に限りおこなわれることを保護者様に十分に説明し同意を得てまいります。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | 保護者様にご覧いただき、現物相互で確認したうえで、アレルギー表を作成し、誤飲誤食がないよう全職員が細心の注意を払って対応しております。 | 今後も細心の注意を払いながら、慎重に対応してまいります。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | 事業所内外で起こった事例を記録し、定期的に振り返りをおこない、情報共有しております。 | 今後も情報共有と認識一致のうえ、事故防止のため、都度振り返りを心掛けてまいります。 |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。